

27 立山ジョイ・フレンド1（解説）

～グループの協力で取り組む野外ゲーム～

主なねらい ○友とのきずなを強める ○グループで協力する ◎グループ意識を高める ○個の活躍と承認のチャンス	適 期	4月～11月
	所要時間	1.5時間～3時間程度 (時間を決めて実施も可能)
	対 象	小学校中学年～

「立山ジョイ・フレンド」は、ゲームをクリアすることが主目的ではなく、クリアするための話し合い、振り返る活動を繰り返すことで、コミュニケーション能力や協力性などを高めることが目的です。

<基本的な流れ>

- ①各ゲーム前の作戦会議
- ②途中やうまくいかないときの意見交換
- ③各ゲーム終了後の振り返り

この活動プログラムは、森の中でグループで協力して、ゲームを楽しむ活動です。1.5時間～3時間の設定時間の中でいくつかの野外ゲームから内容を選択して実施します。

また、この活動は、ジョイ・フレンド2（森の中でのエンカウンター的ゲーム）の前段の活動として行うと、ジョイ・フレンド2でグループの凝集性、協力関係が高まります。また、ジョイ・フレンド2の後に行う流れもおすすめです。

※主なねらいでは、◎はより重要、○重要 と考えてください。

1 この活動のゲーム例

- ①金塊さがし（かなり動的）
- ②ぼくらは地球探検隊（やや動的）
- ③森のかくれんぼ（静的な活動）
- ④音のOL（やや動的）
- ⑤林間立ち木とり（動的）

2 ゲームの選び方

この活動のゲームは、団体のねらいや実態に合わせて、指導者や児童生徒が選んで活動します。

3 評価について

このゲームの評価を一つ一つのゲームで終わらせるより、最後に総合成績として、キャンプファイヤー等の場で表彰する方法も一つです。これらのゲームでは、活躍した友達の様子や他の良かった班の理由などを振り返ることで、ゲームの成果が深められます。また、成績の良くなかった班では、取り組み方や協力の場面について、見直しをさせることが大切です。

学校・団体の担当者が各ゲームを指導することになります。担当者は、ゲーム内容を十分に把握した上で実施してください。指導方法が分からない場合は、職員にお尋ねください。事前に担当者の方に説明します。